



赤い土器

—弥生時代の甕棺墓祭祀と丹塗磨研土器—

Kyushu Historical Museum Exhibition guide

1 マツリの土器

今から2,000年前の弥生時代、人々はさまざまな祈りを込めて、季節や人生の節目などに数多くの儀礼(マツリ)を行っていました。その儀礼においては、土器や青銅器など、数多くの儀礼具を使用していましたが、マツリの非日常性から、それらは通常は使われないような特殊なものを用いていました。

たとえば、弥生土器の中に、「瓢形土器」^{ひさごかたどき}が見られますが、これは形の異なる二つの壺を上下に組み合わせ、一つの器形にしたものであり、日常的な使用を否定することで、聖性を獲得した儀礼のためのいわば「マツリの土器」であったと考えられています。

2 赤い土器と黒い土器

また、弥生時代中期には、現在の福岡県西部から佐賀県東部にかけて、赤く塗られた「赤い土器」が流行しました。丹塗磨研土器^{にぬりまげんどき}といい、ベンガラなどの赤色顔料によって真っ赤に塗られ、ヘラ状の工具で表面が丁寧

に磨かれているのが特徴です。丹塗磨研土器は、日常的に使用する土器とは異なり、これらの地域に特徴的な墓の種類のひとつ、甕棺墓での葬送の儀式に用いられた、いわゆる「マツリの土器」と考えられています。土器の種類もよく見られる壺や甕、高坏などの他、筒形器台など特殊なものも用いられています。

一方で、甕棺や壺などの表面にスス^{しかわ}などを油脂と混ぜ合わせて作ったと考えられる塗料で黒く塗った「黒い土器」も見つかっています。野焼きの土器には通常の焼成時に火回りの悪さなどによって生じる「黒斑」と明らかに異なる黒色顔料が、器壁に付着しているものが見受けられ、この時期の甕棺などに多く見られます。

これらの赤い土器と黒い土器は、死者の蘇生を願う思いと、死のケガレを忌み嫌う思想の、相反する死者への思いという弥生人の複雑な心の対立が、「赤」と「黒」の対照的な色調に反映されたものではないかと考えられています。



(上段左) 日常的に使用された弥生土器
(甕と器台・筑前町七板遺跡)
九州歴史資料館蔵

(上段右) 形の異なる2種類の壺を組み合わせ、
特殊な形の弥生土器
(瓢形土器・小郡市小郡遺跡)
九州歴史資料館蔵

(下段) 黒く塗られた土器(左)と赤く塗られた土器(右)
(筑前町七板遺跡)
筑前町教育委員会蔵



3 栗田遺跡祭祀遺構出土の丹塗磨研土器

ここで紹介する丹塗磨研土器は、筑紫平野の北、朝倉郡筑前町の栗田遺跡で、昭和48年(1973)の発掘調査で出土したものです。この遺跡では、54基もの甕棺墓と、それに伴う祭祀遺構8箇所が見つかっており、丹塗磨研土器は祭祀遺構で出土しました。丹塗磨研土器には、壺、甕、大型器台、椀、高坏などがあります。死者を甕棺に埋葬する際に、墓前にこれらの赤い土器を置き、埋葬の儀礼が執り行われたことが推測されます。これらの土器は、弥生時代の北部九州における埋葬儀礼の祭祀を具体的に示す重要な資料であることから、共に出土した甕棺と併せて、国の重要文化財に指定されています。

また、栗田遺跡と同じ筑前町でも、他に七板遺跡において、丹塗磨研土器が非常に良好な状態で、多数出土しています。



- (上段左) 栗田遺跡祭祀遺構出土丹塗磨研土器
(国指定重要文化財・国(文化庁)所蔵)
※筒形器台のみ栗田経田遺跡出土(福岡県立朝倉高等学校所蔵)
- (上段右) 栗田遺跡祭祀遺構および甕棺出土状況(写真提供:筑前町教育委員会)
- (下段左) 修復が完了した栗田遺跡出土甕棺
(国指定重要文化財・国(文化庁)所蔵)
- (下段中・右) 修復中の栗田遺跡出土甕棺(写真提供:元興寺文化財研究所)
(解体して展開している状況(中)・接合を終えて補彩している状況(右))

4 栗田遺跡出土甕棺の修復

栗田遺跡から出土した甕棺は、発掘調査後ほどなく修復がなされ、製作当時の姿に復元されていました。

しかし修復後30年以上もの歳月が過ぎ、修復した部分の劣化が目立ち始めました。そこで文化庁では、平成23年度(2011)から、特に劣化の激しい甕棺について、5カ年をかけて修復を行い、27年度末に完了、展示公開できるようになりました。

なお、甕棺は、常時展示公開はしていませんが、特集展示や企画展などで随時展示公開する予定です。

(学芸調査室 岡寺 良)

<参考文献>

- ・三輪町教育委員会 1986 『栗田遺跡(B地区)』(三輪町文化財調査報告書第5集)
- ・福岡県教育委員会 1985 『東小田遺跡群』(福岡県文化財調査報告書第70集)
- ・福岡市博物館 1998 『弥生人のタイムカプセル』(平成10年度福岡市博物館特別企画展示図録)

編集 発行:平成28年11月23日



九州歴史資料館
KYUSHU HISTORICAL MUSEUM

〒838-0106 福岡県小郡市三沢 5208-3
TEL 0942-75-9575 FAX 0942-75-7834
URL <http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/kyureki/>